

盛多 勝美 議員 … 1件の一般質問



1期目の折り返し、予算編成に向けた姿勢

町長：財政状況を見極めながら予算編成にあたる

盛多 政府は、「平成29年度の概算要求基準」のもと「経済・財政再生計画」の枠組みの手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組み、歳出全般にわたり政策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底的に排除し、予算の中身を大胆に重点化するとしている。

そこで、本町の平成29年度予算編成について次の諸点について伺う。

① 予算を重点化する為にも新たな行政改革大綱の考えはないか。

② 町長の一期目の公約を実現するために何を重点化するか。(例えば、副町長二人制、農業基盤整備等)

③ 健全で持続可能な財政運営が不可欠であるが、一方で住民要望の予算化をどう整理していくのか。

町長

① 俱知安町行政改革大綱は、平成23年度をもって計画期間を終了している。平成29年度を目標として新たな行政改革大綱を作成する。
② 子育て支援対策として平成30年度開所を目指す



農業基盤整備

統合保育所の本体工事、待機児童の解消、女性が活躍する社会を実現、本町の基幹産業である農業基盤整備、土づくりやバレイシヨ生産振興対策、持続的農業振興施策、ひらふ高原地区観光中核施設建設に向けた予算化。行政改革では、二人副町長制の実現、認定こども園開所に向けた私立幼稚園に対しての施設整備交付金など予算規模が非常に大きくなる見込みとなっており、財政状況を見極めながら予算編成に

あたる。

③ 本町の歳入の状況は、自主財源の根幹となる税収入が固定資産税を中心に増加傾向である。一方普通交付税の算定においては、歳出効率化に向けた業務改革で、地方交付税の基準財政需要額の算定に反映させる算定方法の見直しを進めており、交付額は今後も減少していくと予想される。

一方、行政に対する住民の要望に基づいたそれぞれの地域における懸案事項や町民生活に密着し

た事業については的確に把握し、緊急性、重要性などを勘案し事業の優先順位づけ及び事業内容の精査を行い、効率的、効果的な事業実施の手法を選定し要求することとしている。要望に対し100パーセント満足いただけるような取り組みは難しいと考えられるので全体予算の状況を見ながら予算措置をする。

盛多

副町長の二人制の導入について、本当に必要としているか、再度お伺いする。

町長 新たなプロジェクト北海道新幹線、高速道路それに伴う駅前再開発を含めて、新たな需要の中において国との大きなパイプを持ちながらしっかりと取り組む必要がある。

現在も、副町長一名では、業務量も多い。専門的な分野について、もう一人副町長を入れて、特化した業務を中心に戦略的にまちづくりに取り組む。

